

令和4年  
11月スタート  
(令和5年1月31日まで)

えらんで得する 脱炭素!

- ポイント付与数が上限に達し次第、終了する場合があります。
- 事業者によってはその後もポイント付与を継続する場合があります。

# おおさか CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub> (コツコツ) ポイント+

脱炭素につながる商品等の購入で通常のポイントに加えて、さらにポイントが付与されるものです。



## 対象商品・サービス

- 地産地消の野菜
- 省エネエアコン
- リサイクルダウンウェア
- 鉄道利用によるスタンブラリー等

参加事業者

UR

URBAN RESEARCH Co.,Ltd.

株式会社アーバンリサーチ

SUPERMARKET  
Sunplaza

株式会社サンプラザ

※事業者によっては「おおさか脱炭素ポイント+」の名称を用いている場合があります。

H<sub>2</sub>O  
RETAILING

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

ひと、まち、笑顔に。  
Joshin

上新電機株式会社

300

大阪いずみ市民生活協同組合

JR  
JR西日本

西日本旅客鉄道株式会社

(五十音順)



おおさかCO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)ポイント+ ホームページ  
<https://osakaco2pt.jp>

抽選で商品券やポイントがもらえるアンケートを実施します。  
(令和4年12月～令和5年1月を予定)

大阪府では、脱炭素の取組みに賛同する事業者とともに、生産・流通・使用過程でのCO<sub>2</sub>排出が少ない商品・サービスを購入した方に対してご利用店舗の通常のお買い上げポイントに加えて、さらにポイントを付与し、脱炭素に寄与する商品選択の促進効果やCO<sub>2</sub>削減効果等に関する検証事業を実施しています。

大阪府



脱炭素につながる  
商品やサービスを



CO<sub>2</sub>の  
削減で



# えらんで得する 脱炭素！

大阪府内で脱炭素につながる商品・サービスを購入された方に  
対象期間中、ご利用店舗の通常のお買い上げポイントに加えて、  
さらにポイントを付与します。

各事業者のポイントとして加算されるため、通常のお買い上げポ  
イントと同じように利用することができます。ぜひこの機会に脱  
炭素につながる商品・サービスを選んでください！

## ポイント加算のイメージ



脱炭素につながる  
商品・サービスの購入で  
ポイント加算

通常の  
お買い上げポイント

## 実施店舗・対象商品等

事業者 (五十音順)	実施店舗等	対象商品等
株式会社 アーバンリサーチ	・THE GOODLAND MARKET堀江店 ・URBAN RESEARCH DOORS南船場店 ・URBAN RESEARCH Store ルクア大阪店	・GREEN DOWN(再生羽毛を使用したダウン製品) ・commpost(廃棄衣料をアップサイクルした製品) ・古着バトン(リユース品)
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	・阪急オアシス 豊中駅前店 ・阪急オアシス 池田店 ・イズミヤ 千里丘店	・地場野菜コーナー「おひさん市」で取り扱う 「関西近郊で生産された農産物」
大阪いずみ市民 生活協同組合	・コープの宅配 ※11月4回(11/7(月)~配布)のカタログ注文分からポイント付与	・「コープの宅配」で取り扱う「大阪府産の農産物、 大阪産(もん)認定商品」
株式会社サンプラザ	・大阪府内全店舗(35店舗)	・環境負荷の少ない大阪エコ農産物や有機 JAS 農産物を はじめ関西近郊の農産物
上新電機株式会社	・大阪府内全店舗(53店舗)	・節電多機能エアコン(指定機種)
西日本旅客鉄道 株式会社	・移動生活ナビアプリWESTERを活用した 「AIスタンプラリー(おトクにGO!)」上で参加できる デジタルスタンプラリーを完成させることでポイント発行 ※スタンプラリー開始は11/11(金)を予定	JR西日本の大阪府内の駅を発または着とするICOCAを 利用した同社線でのおでかけ(ICOCA定期券区間内 のご利用を除きます。発または着のどちらかが大阪府外の 駅となるご利用も対象です。)

※事業者によって「おおさか脱炭素ポイント+」の名称を用いている場合があります。

## 買い物がどうして脱炭素につながるの？

あらゆる商品やサービスは、エネルギーや資源を使って製造・提供され、  
その過程で地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を排出しています。私たちが商  
品やサービスの選び方を変えることで、CO<sub>2</sub>排出を減らすことができま  
す。例えば、地産地消を意識して食材を選ぶ。リサイクルやリユースされた  
服を買う。省エネ性能が高い家電製品を買う。自家用車から鉄道に移動  
手段を変える。購入する商品や利用するサービスをみんなで変えていくこ  
とで、脱炭素社会に向けた取組みが一步進みます。



本事業に  
関する  
お問合せ先

(株)地域計画建築研究所(アルパック)大阪事務所(大阪府委託事業者)

〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号日本生命今橋ビル10階

TEL.(06)6205-3600(代) FAX.(06)6205-3601

担当者直通 080-2112-3708 電子メール:datsutanso-pt@arpak.co.jp